

★シラバス(学習の手引き)★

令和 5 年度版

Abashiri Kaiyo High School

教科	地理歴史科	学科	普通科	学年	2	年	選択科目
科目	世界史探究			単位数	2	単位	
使用教科書	高校世界史(山川出版)			副教材	グローバルワイド最新世界史図表新課程版(第一学習社)		

学校教育目標	高い志を立て、自己を練磨し、社会に貢献する人間の育成(立志・練磨)									
育成を目指す 資質・能力	基盤的学力	◎	協働力	○	論理的思考力	◎	傾聴力		課題解決能力	○
	表現力	○	判断力	○	考察力	○	情報活用能力	○	コミュニケーション能力	
	基礎的読解力	◎	創造力	○	洞察力		継続力	◎	行動力	
	自己管理能力		共感力		自己実現力		復元力(折れない心)		自己肯定感	
学習の到達目標	・地球環境と人類の歴史との関わりや身の回りの諸事象と歴史との関わりを考察し、世界史学習の意味や意義を理解する。 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開を構造的に理解する。 ・習得した知識や技能を活用して、歴史的に形成された地球世界の課題を主体的に探究する活動を通して地球世界の課題を理解する。									

★評価規準	A: 十分満足できる	B: 概ね満足できる(基準)	C: 努力を要する
★単元ごとの評価規準 諸地域の歴史的特質の形成			
★4月～7月までの学習内容			
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。	
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか	
・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート	・行動観察 ・ワークシート ・振り返りシート	

【学習計画】

月	単元	学習の目標(評価の観点: 評価方法)
4	・ガイダンス ・文明の成立と古代文明の特質	○オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。 ○古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ○秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。
5	・中央アジアと東アジア世界	○仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。 ○南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
6	・南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・中間考査 ・西アジアと地中海周辺の国家形成	○西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 ○西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
7	・イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	

★単元ごとの評価規準 諸地域の交流・再編		★8月～10月までの学習内容	
①知識・技能		②思考・判断・表現	
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	
★何で評価するか		★何で評価するか	
・定期考査 ・小テスト ・ワークシート		・定期考査 ・ワークシート	
・定期考査 ・小テスト ・ワークシート		・行動観察 ・ワークシート ・振り返りシート	
8	・イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ・ヨーロッパ世界の変容と展開	○西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりや構造的に理解している。 ○諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会や文化の特色、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現できる。	
9	前期期末考査		

自己評価			実際評価		
観点			観点		
①	②	③	①	②	③

10	・東アジア世界の展開とモンゴル帝国	
----	-------------------	--

★単元ごとの評価規準 諸地域の交流・再編			★11月～12月までの学習内容			自己評価			実際評価		
①知識・技能		②思考・判断・表現		③主体的に学習に取り組む態度		観点			観点		
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。		①	②	③	①	②	③
★何で評価するか		★何で評価するか		★何で評価するか							
・定期考査 ・小テスト ・ワークシート		・定期考査 ・ワークシート		・行動観察 ・ワークシート ・振り返りシート							
11	・大交易・大交流の時代 後期中間考査		○アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 ○諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現できる。								
12	・アジアの諸帝国の繁栄										

★単元ごとの評価規準 諸地域の交流・再編			★1月～3月までの学習内容		
①知識・技能		②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度		
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。		
★何で評価するか		★何で評価するか	★何で評価するか		
・定期考査 ・小テスト ・ワークシート		・定期考査 ・ワークシート	・行動観察 ・ワークシート ・振り返りシート		
1	・アジアの諸帝国の繁栄		○西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解している。 ○アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現できる。		
2	・近世ヨーロッパ世界の動向		○宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。 ○ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現できる。		
	学年末考査				
3					

自己評価			実際評価		
観点			観点		
①	②	③	①	②	③

★最終評価総括(自己評価/実際評価)						自己評価総括			実際評価総括		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	①	②	③	①	②	③	①	②	③

◎前期振り返り	◎後期振り返り	▶備考